

2025年を振り返る

今年1年の世相を表す漢字が12日、京都市の清水寺で発表され、「熊」に決まりました。

今年は全国各地でクマが生活圏に出没し、被害が相次ぎました。また、和歌山県白浜町のレジャー施設「アドベンチャーワールド」のパンダ(熊猫)4頭が中国に返還されました。「熊」が選ばれた理由について、日本漢字能力検定協会も「日本各地で“熊”が出没し、国民の関心と不安が集中した年」「“熊”猫(パンダ)が中国に返還」と説明しました。

今年の漢字は31回目ですが、「熊」が選ばれたのは初めてで、2位は「米」、3位は「高」、4位は「脈」、5位は「万」でした。先日の全校朝礼で、子どもたちにも予想してもらいましたが、予想は当たったでしょうか？

本日の終業式では、そのようなことを振り返りながら、次のような話をしました。



私が今年の漢字を選ぶなら「逢」を選びます。理由は、自分が凄いと感心する人、例えばトイレの神様の小畑貞雄さん、大阪の池永重彦さん、デフバドミントン日本代表の片山結愛さんらに出逢えたからです。ある時、杉本さんという女性の方が「人間は一生のうち、逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に」という言葉を紹介してくれたのを覚えていますか？今年、小畑さん、池永さん、片山さんらに出逢いましたが、4月のトイレ掃除に行っていなければ小畑さんと逢うことはなかったし、10月に小畑さんが来校してくれなければ池永さんに逢うこともなく、満濃中学校の教頭になっていなければ片山さんに逢うことはありませんでした。凄いと思える人たちに出逢えたことに感謝し、彼らからももらった刺激を自分の学びにしたいと思っています。

さて、先程の言葉には実は続きがあります。「縁は求めざるには生ぜず。内に求める心なくんば、たとえその人の面前にありとも、ついに縁は生ずるに到らずと知るべし」つまり、今までの出逢いすべてが必然であり、意味がある上、偶然の出会いは無いということ。しかし「縁は求めざるには生ぜず」というように、何か目的や目標をもって自ら行動するからこそ生じるのであり、その縁を自ら求めるからこそ結果としての出逢いにつながります。私たちの限られた出逢いの中で、人生を大きく変化させる出逢いがあるとすれば、自分の思いがその出逢いを引き寄せているといっても過言ではありません。思いは行動につながり、運命につながります。だからこそ一つ一つの縁を大切にする必要があります。ただし、すべての「人=人物」を大切にするということではなく、あくまでもその人と結ばれた「出逢い=縁」を大切にするということです。皆さんもこれまでを振り返ってみれば、自分にとって大きな価値のある出逢いがあったのではないのでしょうか？まだまだ人生の続く生徒の皆さんには、たくさんの出逢いが待っています。良き縁を求めることで、人生のプラスになる出逢いがあることを願っています。

明日から14日間の冬休みに入ります。年末年始もあり、家で過ごす時間が長くなると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。皆さん、良いお年を！

確かな学力

1年生の社会科の授業の様子です。当日は「アフリカ州が抱える課題をウェビングマップでまとめよう」を学習課題として、生徒用タブレットを用いた学習を行っていました。2学期以降「個別最適な学び」についての研究を進めている本校においては、〇〇教諭の社会科の授業が最も進んでいます。子どもたちは資料等を探しながら学習課題の解答を見つけるなど、探究心おう盛に取り組んでいました。



豊かな心

12/10(水)の5校時に、人権集会を行いました。今回はトランスジェンダーの高野晶さんに講演をお願いしました。ご自身の幼少期からの悩みや葛藤、そして「自分らしく生きる」という決心をされるまでの実体験などを、飾らない自分の言葉で話してくれました。今回の講演会を通して、「ありのままの自分」でいることの大切さと、他者の個性を尊重し、認め合うことの重要性について考える機会になりました。

